

茫洋の海

(昭和三十五年寮歌)

一

茫洋ぼうようの海うみに憧あこがれ

峻險しゅんけんの峰みねを慕したいて

北国きたくにの大地ちに旅行たびけば

溢あふれ満みつ夢ゆめ若わかさ

果はてしなく広ひろこれる地平線ちへいせん

二

曇くもりなき心こころ求もとめ

厳きびしかる努つとめの道みちに

真まことなる美さくを探さぐらんと

人ひとの世よの旅たびにして

結むすばれし二年ふたとせの宿やどなれや

三

移うつり行ゆく時ときにはあれど

涙なみだして誓ちかいし言葉ことば

尊とうとしや若わかき日ひの夢ゆめ

春しゅん秋じゅうの十年ととせの後のちに

思おもい出で声こえもなく偲しのばんや

三浦清一郎君 作歌
前野紀一君 作曲